

法面防災に関する講習会のご案内

補強土植生のり枠工

GTフレーム工法[®] 技術講習会（茨城地区）

CPDS

認定講習

参加費
無料

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会ではこの度、下記の内容にて技術講習会を開催することに致しました。

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」は、全面緑化できることを特徴としたのり面保護工であり、防災・景観保全を目的とした全国の斜面对策現場でご活用いただいております。

当日は、当工法の紹介のほか、特別講演として、地盤工学・地盤災害対応学の分野においてご活躍されています茨城大学 安原一哉名誉教授にご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、本講習は、(一社)全国土木施工管理技士連合会CPDSの学習プログラムとして認定されています。講習会の終了後に受講証明書をお渡しします。

敬具

日時 2025年 9月 10日（水）13:00～17:00（12:40より受付）

会場 茨城県立青少年会館 2F 大研修室
茨城県水戸市緑町 1-1-18 TEL 029-226-1388

技術講習会スケジュール

時 間	内 容	講 師
13:00～13:10	開会挨拶	
13:10～14:50	【特別講演】 気候変動の実情と 地盤技術の貢献に関する展望と期待	茨城大学 名誉教授 安原 一哉
14:50～15:00	質疑応答	
15:00～15:10	休 憩	
15:10～16:50	【工法紹介】 防災・景観保全を両立する法面保護工 「GTフレーム工法」設計・施工のポイント	補強土植生のり枠工協会 副技術委員長 森本 泰樹
16:50～17:00	質疑応答	
17:00	閉 会	

※ 建設系CPD協議会加盟の他団体でのCPD単位申請については、各団体の問合せ窓口または当協会事務局までお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局
TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com
URL <http://www.gt-frame.com>

主 催： 補強土植生のり枠工協会

申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限

2025年 9 月 3 日（水）

（定員により申込みをお受けできない場合のみ、こちらからご連絡致します）

参加費

無 料

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」 技術講習会（茨城地区） 参加申込書

補強土植生のり枠工協会 事務局 宛

FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com

申込日： 2025年 月 日

ふりがな お名前	勤務先	所属部署	電話番号

開催日時

2025年 9 月 10 日（水） 13:00～17:00（受付開始 12:40）

会 場

茨城県立青少年会館（茨城県水戸市）

【お問合せ先】

補強土植生のり枠工協会 事務局

TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com

URL <http://www.gt-frame.com>

会 場 案 内

会場

茨城県立青少年会館 2F 大研修室

〒310-0034 茨城県水戸市緑町 1-1-18

TEL 029-226-1388



交通アクセス

【お車をご利用】

- ・水戸IC(笠間方面)からお越しの場合は、国道50号線を水戸駅方面に向かって「偕楽園北口」交差点を右折してください。
- ・水戸駅方面からお越しの場合は、国道50号線を笠間方面に向かって「大工町2丁目」交差点を左折してください。

【電車をご利用】

JR常磐線 水戸駅北口から徒歩30分(約3キロ強です。)

【バスをご利用】

- ・JR 常磐線 水戸駅北口4番乗場より 茨城交通バス乗車「歴史館偕楽園入口」下車徒歩 1 分
- ・JR 常磐線 水戸駅北口4番乗場より 茨城交通バス「偕楽園行」乗車「青少年会館前」下車

駐車場のご案内

当館には約 80 台分の無料駐車場がございます。

ただし、満車の場合は、護国神社下の桜山駐車場をご利用ください。(徒歩10分)

特 別 講 演

講演題目

気候変動の実情と地盤技術の貢献に関する展望と期待

講演者紹介

安原 一哉 （やすはら かずや）



【 学 歴 】

昭和43年3月 九州大学 工学部 水工土木学科 卒業

【 職 歴 】

昭和43年 4月 九州大学文部教官助手(工学部水工土木学科勤務)
昭和46年 4月 西日本工業大学 講師
昭和48年 4月 西日本工業大学 助教授
昭和52年 11月 工学博士(九州大学)
昭和53年 10月 西日本工業大学 教授
平成 2年 4月 茨城大学 工学部 建設工学科 教授
平成 3年 10月 茨城大学 工学部 都市システム工学科 教授 (改組のため)
平成19年 4月 茨城大学 地球変動適応学研究機関(ICAS) 兼務
平成22年 5月 茨城大学 名誉教授
現在に至る

【 退職後履歴 】

平成22年 6月 茨城大学 名誉教授 および 地球変動適応科学研究機関(ICAS)産官学研究員 兼務
平成27年 4月 茨城大学 名誉教授 および 地球変動適応機関(ICAS)学長特命研究員 兼務
令和 2年 4月 茨城大学 名誉教授 および 地球・地域環境創生機構(GLEC)特命研究員 兼務(令和7年3月まで)
令和 3年 7月 茨城大学 名誉教授 および (一社)地域国土強靱化研究所代表理事
現在に至る

【 研究分野 】

地盤改良・地盤補強技術、地盤災害対応学、気候変動対応学

【 学会における主な活動 】

土木学会(フェロー会員)、地盤工学会(国際会員)、地震工学会(正会員)
・地盤工学会関東支部評議員(2010-2018)
・土木学会関東支部茨城会顧問(2016-現在)

【 社会における活動 】

・建設省・運輸省(現在は、国土交通省)、環境庁(現、環境省)、通産省(現、経産省)などにおける
各種委員会委員&委員長
・土木技術センター、先端建設技術センターにおける技術評価委員会委員長
・茨城建設技術研究会会長、土木学会関東支部茨城会会長、など
<具体例>
・NEXCO 東日本茨城地区技術審査委員会委員長(2009-2018)
・茨城県建設管理センター評議員(2013-現在)
・茨城県建設コンサルタント協会技術顧問(2016-現在)

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」技術講習会
特別講演概要（安原一哉）

◆演題：気候変動の実情と地盤技術の貢献に関する展望と期待

◆概要：

地球温暖化が一因となっている気候変動の影響は、激甚化、広域化そして多様化している。この気候変動への対応は、カーボンニュートラルに代表される“緩和策”とレジリエンスの強化に代表される“適応策”に分けられる。最近では、気候変動対応策というと、すぐ、“カーボンニュートラル”というキーワードで語られるが、実は、“カーボンニュートラル社会”が実現されればそれですべて解決というわけではない。講演では、そのことの理由を最初に紹介し、気候変動対応策では、むしろ適応策の方が重要であることを強調する。

気候変動適応策については、近年は、シナジー効果を有する多目的で多機能な革新的な適応策が期待されている。シナジー効果を有する適応策とは、例えば、(1) 緩和策にも適応策にも寄与できる、(2) 複数の適応分野に寄与できる、(3) 地球環境分野だけでなく他の分野の課題解決にも寄与できる政策や技術を指している。技術に限って言うと、“シナジー効果を有する技術”とは、“多機能で多目的な技術”ということができる。ただ、シナジー効果をひたすら目指すがために、トレードオフをもたらすことは避けなければならない。このことも強調したい。

講演では、上記のような、シナジー効果を有する技術のうち、地盤工学分野の現状を紹介し、将来へ向けて、どのような適応技術が期待されているかを紹介したい。最後に、以上を踏まえて、政府が目指すところを念頭に置きながら、どのようなビジネスチャンスがあるか、につき私見を述べ、締めくくりとしたい。



(a) 適応ビジネスが期待される分野

(b) 予想される適応ビジネスの市場規模

図 気候変動適応ビジネス

(経済産業省「企業のための温暖化適応ビジネス入門」, 平成30年2月,

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/pdf/JCM_FS/Adaptation_busin_ess_guidebook.pdf, 一部著者加筆)